



東っ子通信

E: 笑顔の自分を探そう
A: 安心安全な学校
S: 信じよう!! 自分の可能性
T: 互いを認め合い共に学び合う仲間たち

“ A 安心安全な学校 ”

防災について考えよう (防災集会)

9月7日(木)に、防災集会を行いました。
集会の目標は次の二つでした。

- ① 「自助・共助・公助」について知る。
- ② 備蓄 (持ち出し袋の中身) について考える。
学習活動の様子を紹介します。

① 「自助・共助・公助」について学ぼう!!

- ・「『自助・共助・公助』とは何か?」について、スライド (写真や動画) を見ながら説明を聞きました。
- ・「公助」には限界があることから、自分の命は自分で守るための「自助」と、地域で助け合って乗り越える「共助」、災害に対する「備え」が大切であることを学びました。
- ・ワークシートの振り返りの欄を見ると、ほとんどの児童生徒が正しい答えを選択しており、自助・共助・公助について理解できていました。



「自助・共助・公助」とは?



ワークシートに記入

② 自分や家族の命を守る備蓄、何を準備する?

- ・「自助・共助・公助」について学んだ後、自分や家族の命を守るための備え (自助) について、グループワークに取り組みました。
- ・グループワークでは、水害の危機が迫っているという状況が設定されました。そこで、まず、どのような備えが必要かについて、個人で考えてワークシートに記入しました。その後、各自の意見をもとにグループ内で話し合い、考えを共有しました。

【想定状況】

あなたは、父、母、1歳の弟、そしてあなたの4人家族です。9月7日(木)諫早市に大雨洪水警報が発令されました。また、市内を流れる本明川の水が溢れそうなので、あなたが住んでいる地域に避難指示が発令されました。

「避難する際に持ち出すリュックの中に何を入れますか?」



- ・小学部のワークシートには、備蓄品のイラストを提示していたので、それをヒントに、担任の先生と相談しながら考えることができていました。
- ・中学部のワークシートには、備蓄品のイラストを提示していませんでしたが、普段家庭で準備している物や過去の学習などの経験から避難に必要な物を考えていました。中には、「1歳の弟」に何がなかさを考えたり住んでいる地域や避難所での生活を想定したりして必要な物をワークシートに記入している生徒もいました。



「何がなかさ?」



「なるほど!!」

- ・ワークシートの振り返りの欄には、次のような感想が書かれていました。

☆自分では気づかないことがあった。
 ☆自分の家には、猫がいるので、ペットがいる家庭はどうすればいいか家で調べようと思った。
 ☆自分が思いつかなかった物を、他の班の人が言ってくれたので良かった。
 ☆今回の授業で自助の大切さが分かった。

最後に、諫早市危機管理課から借用した備蓄品を展示し、いろいろな備蓄品があることを実際に見て学びました。御家庭でも防災について、ぜひ話題にされてみてください。

“ T: 互いを認め合い共に学び合う仲間たち ”

動物ふれあい交流会

10月13日(金)、小学部は諫早農業高等学校に出かけ、「動物ふれあい交流会」をしました。



「ドキドキ・・・かわいい」



「ふわふわ・・・あったかい」

農業高校の生徒の皆さんが、動物への触れ方や関わり方を子供たちに、とても優しく教えていただきました。諫早農業高校の生徒の皆さん。ありがとうございました。来年も楽しみにしています。

※東っ子通信はホームページでも御覧いただけます。

